

# 令和5年度 第2回 保倉区地域協議会

## 次 第

日時：令和5年11月2日（木）午後6時～

会場：保倉地区公民館 研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

・「地域活性化の方向性」について

4 その他

・次回地域協議会

令和5年 月 日（ ）午後6時～ 保倉地区公民館

5 閉 会

保倉区「地域活性化の方向性」(案)に係る

保倉地区町内会長連絡協議会との意見交換において寄せられた主な意見

開催日時：令和5年10月28日(土)

参加者：(地域協議会) 丸山会長、池田副会長

(事務局) 北部まちづくりセンター 丸山主任

○「地域活性化の方向性」について

- ・「地域活性化の方向性」作成後、どのように取り扱うのか。

(事務局回答)

地域協議会における今後の協議の参考とするため委員間の共通認識を持つことを目的に作成している。キャッチフレーズ・構成要素に記載した事項が実現されていくよう、町内会長連絡協議会・まちづくり振興会の皆様と一緒に取り組んでいければと考えている。実現に向けた取組は、来月から・来年からのような性急なスパンではなく、着実に、合意形成を図りながら進めていきたい。

○二貫寺の森について

- ・入口は諏訪区にあるが、保倉区も一部含まれている。
- ・昔はバーベキュー場などが整備されていたが今は藪になっている。
- ・昔は諏訪地区、保倉地区の住民も草刈りなどの保全活動に参加していたが、現在は参加していない。
- ・二貫寺の森に人を呼び込んで何かをするのであれば、もっと予算をかけて整備する必要があるのではないか。

○上吉野池について(ハクチョウの飛来)

- ・ハクチョウが飛来すると護岸を壊してしまい補修に多額の費用がかかることから、現在は、ため池の保全のため冬期は水を抜いており、ハクチョウが降り立たないようにしている。

○「農業」について

- ・高齢化という課題がある。

○「伝統文化の継承」について

- ・「剣の舞」の活動が盛んで、先日保倉小学校でも児童による発表会があった。

○「防犯・防災」

- ・地区防災士会のほか、各町内会が計画的に実施している。

### ○「地域コミュニティの活性化」について

- ・保倉地区体育大会は、かつては小学校と合同で実施していたが、コロナ禍を挟んで開催方法の見直しがあった。今後、地域として体育大会を復活させていくかどうかは検討。イベントを企画するにしてもまずは人を集めなければならないので、住民の考え方も踏まえて検討していく。

### ○「移住」について

- ・市からも情報発信に取り組んでもらいたい。
- ・農業地域ということもあり、水道や下水道などのライフラインが通っていない土地もあり、都市計画の制約もあるので新築は難しい地域でもある。

## 保倉区における「地域活性化の方向性」 (案)

### 《保倉区の地域活性化に向けて》

保倉区の豊かな自然、盛んな農業、地理的優位性と地域の伝統文化をいかして、誰にとっても暮らしやすく、人々が集う、まちづくりを推進します。

#### ○構成要素

- |                                  |
|----------------------------------|
| ・ 自然、農業を活かした魅力の向上（豊かな自然、農業体験など）  |
| ・ 伝統文化の継承・活用                     |
| ・ 安全・安心なまちづくりの推進（防犯・防災）          |
| ・ 地域コミュニティの活性化（保倉地区体育大会等の各種イベント） |
| ・ 移住者の増加に向けた取組（地域の魅力を情報発信）       |

《表題部分の中身》

保倉区の

豊かな自然	二貫寺の森、 <b>田園風景、（ハクチョウが飛来する上吉野池）</b>
盛んな農業	上越市の一大農業地域（水稻、園芸ともに盛ん）
地理的優位性	国道 253 号線と県道新井柿崎線の結節点、市街地と山間地の中間に位置
地域の伝統文化	「剣の舞」を始めとする地域の伝統芸能

をいかして、

誰にとっても	子どもからお年寄り、定住者・移住者など
暮らしやすく	安全・安心
人々が集う	定住者）地域コミュニティの活性化 移住者）地域の魅力に惹かれ移住したくなるまち

まちづくりを推進します。



《構成要素として整理》

・ 自然、農業を活かした魅力の向上（豊かな自然、農業体験など）
・ 伝統文化の継承・活用
・ 安全・安心なまちづくりの推進（防犯・防災）
・ 地域コミュニティの活性化（保倉地区体育大会等の各種イベント）
・ 移住者の増加に向けた取組（地域の魅力を情報発信）